

令和5年度

法人基本方針

ここ数年で我々の社会を取り巻く環境は激変しています。決して環境が良くなっているわけではなく、どんどん悪い方向に進んでいるように思えます。

例えば、新型コロナの感染拡大によるマスク・グローブ・消毒用アルコール等の不足及び価格上昇、並びに感染対策のための職員の業務負担増大等。

梅雨明け前の大雨や、台風の大型化、また冬場の積雪による交通障害など、被害は年々酷くなってきつつあります。

幸い今までのところ、当法人においては天災による被害は出ていませんが、これから先の中長期的な事業継承を視野に入れた計画を策定させるべく検討を開始することとします。特に、線状降水帯発生による局地的な豪雨については、ハザードマップを活用しつつ、行政関係部署とも連携し、支援を受けられるものがあれば積極的に活用していければと考えています。

次に、慢性的な介護職員不足については深刻な状況にあります。介護処遇改善交付金やベースアップ支援金のおかげで職員の報酬は改善傾向にあるものの直接雇用の応募がほとんどなく派遣職員に頼るしかないのが現状です。少しでも職員のモチベーションを上げるべく、研修体制を充実させ、やりがいのある職場を目指したいと思います。

また、市民センターなどとも連携を図り講演などを通じ、地域の皆様から支持される施設を目指し、法人運営に努めます。

『基本理念』

『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

『運営方針』

- ・個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。
- ・近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。
- ・口腔機能の維持、向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。

『令和5年度重点目標』

- 感染症、自然災害等の各種リスクを踏まえた事業継続計画の策定を進めます。
- 職員教育の充実や、働き方の多様性に合わせ、安心して長期勤務できるような施策実施により、より一層の職員育成と勤労意欲向上に取り組めます。
- 地域・家族・医療機関との連携による地域のニーズの把握及びサービスへの展開とともに、さらにサービスの質を高め、利用者から選択される施設を目指します。
- 施設建物・設備備品等の耐用年数及び不具合等を適切に把握し、計画的かつ適時の整備・修繕を行います。

法人の概要

1. 法人名 社会福祉法人 恵康会
2. 法人所在地 福岡県北九州市門司区上藤松3丁目2番1号
3. 代表者氏名 理事長 渡邊 義嗣
4. 設立年月日 平成21年9月11日
5. 主たる事業

- (1) 特別養護老人ホームひかりの丘

入所定員：29名

(ユニット型個室)

- (2) ショートステイひかりの丘

利用定員：10名

(ユニット型個室)

- (3) グループホームひかりの丘

利用定員：18名

(ユニット型個室)

- (4) グループホームひかりの道

利用定員：18名

(ユニット型個室)

令和5年 部門別目標

【本部】

取組目標	具体的な行動計画	備考
1. 感染症・自然災害等の各種のリスクを踏まえた事業継続計画の策定を進める。	・マスク、消毒用アルコール等の衛生資材の安定的な確保を図る。 ・感染拡大防止に向けた新たな衛生管理体制を構築する。 (施設内感染防止、職員確保への対策、衛生資材調達、福祉避難の受け入れ等、臨機応変の対応) ・情報収集に努め利用者受入への影響による景気減退の情勢の変化に備える。 ・水害、土砂災害への対策と避難体制を確立する。 ・法人内の応援体制及び外部からの応援の要請、受入の検討。	
2. 計画的な研修の実施により、職員の質の向上を図る。	・外部研修については、研修内容に合致した職員を派遣する。 ・外部研修受講内容を他の職員に伝達するために詳細な復命書での報告及び伝達会を実施する。 ・新任職員に対しては、OJTを実施し人材の育成を行う。 ・職員の自主的な提案を重視し、広く研修の機会を設ける。 ・口腔ケア、摂食不良、誤嚥及び拘縮、褥瘡予防のポジショニングについて受講させるべく計画する。	

取組目標	具体的な行動計画	備考
3. 職員の適正数を確保し、欠員が生じた場合は速やかに補充を行う。	・ 事業所ごとの職員の適正数を把握し、計画的な採用を行う。 ・ 職員採用面接に当たっては、複数の職員で面接を行い、求職者の人柄、熱意等を見極め採用後のミスマッチを極力防いでいく。 ・ 職員採用の窓口拡大の為、外国人技能実習生の採用の検討を行う。	
4. 安心して長期勤務継続できるような施策を実施する。	・ ワークライフバランス等により、長期安心して勤務できるように支援する。 ・ 人事考課とキャリアパスの連動を強め、モチベーションの向上を図る。	
5. 利用者の施設利用満足度を高める。	・ 現状把握調査を精査して改善項目を見出す。 ・ 結果及び改善項目を事業所毎に検討し、実行する。	
6. 地域活動へのニーズの把握に努める。	・ 厚生労働省等行政の動向に注視する。 ・ 地域、公民館、市民センター、民生委員、ボランティア団体、校区との連携を強化し、ニーズの把握を行う。 ・ コロナ禍による新しい生活様式等を考慮した地域交流を検討する。	
7. 施設建物・設備備品等の保守・修繕等を適切に実施する。	・ 施設建物、設備備品等の耐用年数及び不具合等を適切に把握し、整備、修繕計画を作成する。	

【特養生活相談員】

取組目標	具体的な行動計画	備考
1. 入所者や家族のニーズに寄り添う。	・ 入所者や家族の相談に応じ、問題解決のため調査 ・ 連絡、調整等の援助を行う。	
2. 入所者の人権を守る。	・ 入所者の自己選択や自己決定を尊重し、サービスにつなげられるよう支援する。 ・ 身体拘束『0』の継続の為、環境整備や福祉用具の活用を行う。	
3. 入所待機者の適正な実態把握を行う。	・ 入所待機者リストによる実態把握を定期的に行い待機状態の確認および緊急度合いを確認する。 ・ 待機者からの要望を確認し、ショートステイ利用やグループホーム入居など、法人内の社会資源を有効に活用していく。 ・ 特養から退所者が出た場合は、速やかに待機者をご案内できるよう常に順位上位者の意思確認を行う。	
4. 施設という社会資源の有効活用。	・ 特養入所者で欠員が生じた場合は速やかに上位待機者からご案内する。	・ 感染対策に配慮する

【特養生活相談員】

取組目標	具体的な行動計画	備考
5. 入所者と家族が施設という社会資源を利用して、豊かな関係を築けることを目指す。	・ 外出、面会を支援する。 ・ 新型コロナウイルスの感染対策を踏まえたうえで家族との交流を確保する。 ・ 入所者の施設での様子を適時、家族に報告相談をしていく。 ・ 広報誌により、施設での生活の様子を伝える。	
6. 入所者が選択する際の情報を提供するため、広報活動を充実させる。	・ 医療機関や居宅介護支援事業所との連携や情報交換を行う。 ・ 公民館、市民センターへの広報紙の設置。	

【特養介護支援専門員】

取組目標	具体的な行動計画	備考
1. 入所者の立場にあったケアプランを作成する。	・ 入所者の個々のニーズ、思いを再確認する。 ・ ADL状況及びケアプランの達成状況の把握に努めながら、身体状況などに変化があった場合には随時、見直しを行い各職員に周知徹底を図る。	
2. 介護支援専門員の質の徹底を図る。	・ 必要に応じて介護支援専門員の資質向上等に関する研修会に参加する。	

【医務】

取組目標	具体的な行動計画	備考
1. 入所者に安全で快適な看護を提供する。	・身体上の特性に対する細心の注意力と深い観察力をもって、わずかな症状の変化を把握し早期に処置を行う。 ・医師、ケアマネジャー、生活相談員、理学療法士、介護職員、栄養士等との連携をはかり、QOL（生活の質）向上を念頭に利用者の健康管理を行う。 ・入所者個人の疾患を理解し、服薬管理を行う。 ・高齢者特有の認知症、うつ、転倒、失禁、感染、免疫失調、低栄養便秘、不眠、感覚器障害、皮膚機能低下などを念頭に置き入所者の状況、状態を把握し看護の方向性を高める。 ・家族とのコミュニケーションを図り、情報収集を行う。 ・施設に入所することで起こりうるストレス、不安感を解消し、環境に適応できるよう入所者の理解力に合わせた説明をして、セルフケアを助ける。 ・食事、入浴、洗髪、排泄、移動などは、残存機能に応じた援助を行えるよう実施、介護職員への助言を行う。	
2. 感染予防対策への意識の向上と、感染症の集団発生防止の対策	・新たな感染症への対策など情報を収集し、職員への周知に努める。 ・入所者の異常の早期発見に努め必要時は感染対策マニュアルに沿った対応を行い感染拡大防止に努める。 ・施設内における感染症の集団発生防止と職員の自己防衛意識を高めるために必要な知識を習得できるよう施設内研修を実施する。	

【特養ユニット介護】

取組目標	具体的な行動計画	備考
1. 入所者・家族への 接遇のさらなる向 上を目指す。	・ 日常的に「相手の立場での視点」で考える意識づけを行う。 ・ 施設内研修を実施し、個々の言葉使いを徹底する。 ・ 職員一人一人の入所者への言葉使いや接遇態度を人事考課により強く反映させる。	
2. 個別ケアを理解し その人らしい当たり 前の生活が送れる よう支援する。	・ 入所者の意思決定と自立の機会を持てるよう配慮する。 ・ 職員が入所者のその人らしい生活を理解する。 ・ 入所者が日常的な楽しみ、役割を持てるようにする。	
3. 入所者が落ち着け る環境を整える。	・ 家具の配置や仕切りを置き、広すぎない空間を作り、家庭的な環境を整える。	
4. 身体拘束及び虐待 の防止について、 対応を強化する。	・ 身体拘束廃止委員会を開催し、状況把握及び、改善策の検討を行う	

【短期入所】

取組目標	具体的な行動計画	備考
1. 利用者にとって安全で快適な居住空間を提供する。	・出来るだけ自宅のベット周りに近い環境を整える。 ・環境の変化による不安や緊張感を和らげるよう施設内の案内や他利用者との仲を取り持つ。	
2. 自宅と同様の生活ができるようなサービス体制を整える。	・寝たきり防止のため、できる限り離床に配慮する。 ・生活のリズムを考え、毎朝夕の着替えを行うよう配慮する。 ・自立への支援として、本人の身体能力を最大限に活用した援助を実施する。	
3. 利用者の家族に安心感を与え、信頼を得られるようなサービス提供を行い、その身体的・精神的な負担の軽減を図る。	・家族や担当ケアマネジャーへの連絡を密に行う。 ・日常生活介護とともに、栄養士・介護職員による健康管理を実施する。 ・利用者、家族の状況を把握するとともに、ショートステイの内容について十分な説明を行い、ご理解をいただく。 ・急変や緊急時には迅速な対応を行う。	
4. サービスの質の向上を図る。	・利用者の人間性を尊重し、常に敬う心をもって接するとともに利用者の身体の状態や個性を理解し援助を行う。 ・ショートステイ利用者をゲストとして捉え、職員からの言葉使いには十分に注意を払う。 ・各部署との報告、連絡、相談を徹底する。 ・ユニットと連携し、日中の余暇活動の充実に努める。	

【短期入所】

取組目標	具体的な行動計画	備考
5. ショート床利用安定の為、利用者を増やす。	・各居宅介護支援事業所へ毎月の実績の報告を行うとともに、ケアマネジャーと情報の共有を行う。 ・ショート床の空き情報を随時居宅介護支援事業所へ連絡を行う。	
6. 新型コロナウイルス等感染症の施設内感染防止に努める。	・在宅や他サービス利用時の状況を把握し、健康状態を確認する。 ・送迎時の検温、健康状態の聞き取りを徹底する。 ・日常生活において、健康状態の把握を行い、異常の早期発見に努める。	

【グループホーム】

取組目標	具体的な行動計画	備考
1. 利用者への適切な言葉かけ等対応を共有する。	・ 認知症の周辺症状の要因を把握し、適切な対応を心がける。 ・ 訴えを傾聴し想いを確認する。 ・ 適切な言葉使いを徹底する。	
2. 利用者から喜んでいただける食事を提供する。	・ 利用者が希望する外食、季節感のある行事食を提供して、美味しくて目でも楽しめる食事をする。	
3. 一人一人の想いを確認する。	・ ケアプランを再点検して、利用者のニーズを再確認する。	
4. 近隣の方々との連携を密にする。	・ 施設の行事に近隣の方々を招く。 ・ 地域の行事への参加の機会を増やす。	
5. 身体拘束及び虐待の防止について対応を強化する。	・ 身体拘束廃止委員会を定期的に開催し、状況把握及び改善策の検討を行う。	
6. 家族との交流を確保する。	・ 新型コロナウイルス感染対策を踏まえたうえで家族との交流を確保する。	

【栄養】

取組目標	具体的な行動計画	備考
1. 利用者に喜ばれる食事を提供する。	・ 食材費の計算を行い、予算内で季節感のある美味しい食事を提供する。 ・ 食事の様子を観察することで、献立作りに反映させる。	
2. 栄養バランスの取れた食事を提供する。	・ 栄養給与目標量に沿った献立を立てる。	
3. 利用者の身体状況に合わせた食形態を提供する。	・ 栄養ケアマネジメントの実施により、一人一人の身体状況、栄養状況に合わせた食事や自助具を提供する。	
4. 衛生管理を徹底する。	・ 調理員は、毎朝「個人衛生管理点検票」をチェックする。 ・ 食材の保管、取扱いにも注意する。 ・ 厨房内は衛生を保つために、毎日の清掃、定期的大掃除を実施する。	

令和 5 年度事業報告

令和 5 年度は、新型コロナが感染症分類第 2 類相当から第 5 類に移行し、世の中は日常を取り戻しつつあるという状況下、施設内においてはまだ感染対策は行わざるを得ませんでした。利用者、職員共に感染者数は少なかったものの、一人でも感染者が出ると、やはり第 2 類相当の時同様の対策を取るため、職員不足に拍車がかかるという状況でしたが、何とか乗り切ることが出来ました。

令和 5 年度の課題は、特別養護老人ホーム・ショートステイの年間の稼働率がおおよそ 92%と、目標より低い入所率・利用率だったことでした。特養は 12 名の新入居を迎えましたが、退所された方も 11 名となりました。これは、医療が必要となり施設では暮らすことが出来ない人が退所されたり、看取りをさせていただいた方もおられ、入所対象者の方との契約がなかなかスムーズに出来なかったり、慢性的に空床が続いた状況でした。さらに、職員の人材不足もなかなか解消せず、派遣職員の雇用も複数名となり、人件費も徐々に増額していく等の理由から、厳しい法人運営となりました。

次に面会についてです。12 月より面会を再開いたしました。面会人数・面会時間・体調チェック・マスク着用などの制限付きではありますが、家族の方にはとても喜んでいただきました。入所者の方も久しぶりに家族との面会となり、笑顔がたくさん見られました。しかし、コロナ禍で、生活の場としての整理整頓・清掃・整容・その他環境の整備がおろそかになっていて、改めて、日々の業務の積み重ねがいかに大事であるかを再認識しました。

最後に、事業計画に挙げている各事業所・部門の目標については、今後でも取り組んでいきたい課題として、引き続き次年度の事業計画としました。

次年度は心機一転、研修などを通じて職員個々はもちろん、全体的なレベルアップを目指したいと思います。また、地域の公共施設や地域の人々とのかわりができるよう、社会福祉法人として地域に貢献できることを模索しながら、次年度の法人運営を行ってまいります。

令和 5 年度 社会福祉法人 恵康会
特別養護老人ホームひかりの丘 事業報告

(1) 事業所の種類

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

(2) 事業所の目的

利用者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、家族・友人・地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望、置かれている環境を踏まえ利用者の尊厳を守るとともに、適切なサービスを提供することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針《個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。》

《近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。》

《口腔機能の維持、向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。》
を基に利用者の尊厳ある生活を支えています。

(4) 事業運営計画

- ・利用者の重度化に伴い、一人一人の状態を把握し、専門職や嘱託医と連携を図り、異常の早期発見に努めます。
- ・利用者、職員ともに安心して日々を送れるように感染対策に努めます。
- ・職員のスキルアップを図るとともに定着を目指します。

(5) 利用定員

入居定員：3ユニット29名

ふれあい 9名

まごころ 10名

やすらぎ 10名

(6) サービスの内容

入浴・排泄・食事等の介護、機能訓練、相談及び援助、健康管理、家族・地域との交流、その他必要であると思われるサービスの提供をします。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①利用者の重度化に伴い心身状態を把握し、それぞれに合った適切なケアを行う。	(1) 利用者の日々の状態を把握し、少しの違いを見逃さない観察力をつけ、適切なケアに努める。 (2) 専門職、嘱託医、家族と情報を共有し連携を図る。
	(報告) 利用者の日々の生活の中で、利用者の変化を観察する力が少しついてきたと思います。観察力が付き、早期対応することで、重症化も防ぐ事ができたと思います。また、ひとりひとりに合ったケアが出来るようになったと思います。
②活気ある環境作りを行い、職員のスキルアップ、定着を図る。	(1) 状態に応じたケアの方法を身につける。 (2) 勉強会を開催し、知識を深めスキルアップを図る。 (3) 相談しやすい環境を作り、開かれた職場を作る。
	(報告) 利用者それぞれの状態を把握し、話し合いを行うことでケアの統一や方法を身に着けることが出来たと思います。 勉強会が中々できず、個別に指導という形になってしまいました。今年度は勉強会を開催し、スキルアップを目指したいと思います。 話しやすい環境を作る事で、職員の思いや悩みを聞くことが出来たと思います。話を聞くだけでなく、解決に導いていくことも、出来てきていると思います。

◇ 行事

4月	お誕生日会 運営推進会議	10月	お誕生日会 運営推進会議
5月	お誕生日会	11月	
6月	お誕生日会 避難訓練・運営推進会議	12月	クリスマス会 もちつき大会 運営推進会議
7月	お誕生日会	1月	お誕生日会
8月	お誕生日会 運営推進会議	2月	お誕生日会 運営推進会議
9月	敬老会	3月	お誕生日会 避難訓練

(報告)

昨年度も外出ができない状況でしたので、施設内で楽しんで頂くように努めて参りました。食事作りやユニット内で魚釣り、お正月は福笑い等を行いました。今年度は、ドライブ等を行っていききたいと思います。

【令和5年度総括】

利用者それぞれを観察する力が少しずつではありますが、ついてきたと思います。観察力を付けることで、少しの変化に気付き、専門職と情報共有することで重症化を防ぐことができたのではないかと思います。

5年度から面会が制限付きですが再開することができ、家族と一緒に過ごす時間ができ、家族からも「顔を見て安心した」と喜んでいただけました。利用者の皆様も笑顔が増えてきました。

職員への勉強会が書面だけになり、しっかりとした指導ができていませんでした。書面だけでは伝わらないため、個人的に指導等を行っていましたが、介護の知識や技術の再確認は行えていませんでした。今年度は勉強会を開催し、職員のスキルアップを目指したいと思います。

令和５年度 社会福祉法人 恵康会
特別養護老人ホームひかりの丘 事業経過報告

１．月別入居者推移表

(人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
男性	7	7	9	8	8	8	7	7	9	9	8	8
女性	17	16	18	18	18	18	16	15	16	18	19	17
合計	24	23	27	26	26	26	23	22	25	27	27	25
目標数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29

２．月別請求件数／介護給付費請求金額

(件／円)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
請求件数	24	24	28	27	26	26	26	23	25	27	27	26
介護給付費 請求金額	7,048,270	7,036,972	8,119,458	7,880,952	7,828,380	7,374,676	6,936,514	6,335,246	7,425,642	7,708,190	7,339,097	7,436,227

３．月別要介護度別表

(人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
要介護１	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1
要介護２	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5
要介護３	7	6	8	8	8	8	7	6	10	9	8	7
要介護４	7	7	8	7	7	7	8	7	6	8	8	8
要介護５	6	6	6	6	6	6	4	4	4	5	5	4
合計	24	23	27	26	26	26	23	22	25	27	27	25

４．月別居住区表

(人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
小倉北区	5	5	6	5	5	5	5	4	5	5	4	3
小倉南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
門司区	18	17	20	20	20	20	17	17	18	21	22	21
戸畑区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若松区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡東区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	24	23	27	26	26	26	23	22	24	27	27	25

５．月別平均年齢

(歳)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
男性	86.9	87.0	84.2	84.3	83.0	83.1	83.2	83.8	82.9	83.0	83.0	81.6
女性	92.1	92.1	91.2	90.7	90.8	90.9	90.4	89.7	89.7	90.1	89.7	89.8
男女平均	90.6	90.6	88.9	88.5	88.4	88.5	88.6	87.9	87.2	87.7	87.6	87.4

◇ 附属明細書

5年度は11人の退所、12人の入所がありました。

■退所

R5. 5. 24 女性 要介護4（医療ニーズ）
R5. 6. 23 女性 要介護4（看取り）
R5. 7. 5 男性 要介護4（病院にて逝去）
R5. 10. 6 男性 要介護4（医療ニーズ）
R5. 10. 18 女性 要介護1（医療ニーズ）
R5. 10. 19 女性 要介護3（医療ニーズ）
R5. 10. 23 女性 要介護5（医療ニーズ）
R5. 11. 2 女性 要介護4（自宅へ）
R6. 2. 13 男性 要介護4（医療ニーズ）
R6. 3. 2 女性 要介護4（病院にて逝去）
R6. 3. 21 女性 要介護5（医療ニーズ）

■入居

R5. 6. 1 男性 要介護4（自宅より）
R5. 6. 1 女性 要介護3（自宅より）
R5. 6. 1 女性 要介護1（ロングSS）
R5. 6. 3 女性 要介護3（自宅より）
R5. 6. 17 男性 要介護3（病院より）
R5. 10. 20 女性 要介護4（自宅より）
R5. 12. 1 女性 要介護4（自宅より）
R5. 12. 1 男性 要介護4（自宅より）
R5. 12. 1 男性 要介護4（自宅より）
R6. 1. 15 女性 要介護4（自宅より）
R6. 1. 16 女性 要介護4（自宅より）
R6. 2. 1 女性 要介護2（ロングSS）

5年度は退所者が多く、退所理由も医療ニーズが高くなったことが多かったです。
入居調整がスムーズにいかず空床期間が長くありました。入居された12名のうち、8名の方がショートステイのご利用をされていました。今後もショートステイと連携を図りながら入居調整を行っていきたいと思います。

令和5年度 社会福祉法人 恵康会
ショートステイひかりの丘 事業報告

(1) 事業所の種類

短期入所生活介護・予防短期入所生活介護

(2) 事業所の目的

利用者が住み慣れた地域での生活を継続することが出来るよう、家族・友人・地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望、置かれている環境を踏まえ利用者の尊厳を守るとともに、適切なサービスを提供することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。」

「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」

「口腔機能の維持、向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。」
を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・居宅介護支援事業所との連携を図り新規利用者の獲得に努めます。
- ・利用者が少しでも長く自宅で暮らせるよう、家族の負担も考え柔軟な受入れを検討します。
- ・他職種とも連携を図り、医療・リハビリ等、利用中にサポートができるよう居宅サービス計画書に沿ったサービスの提供を行います。

(5) 利用定員

利用定員：1ユニット10名

事業実施区域：門司区・小倉北区（但し離島は除く）・小倉南区

(6) サービスの内容

入浴・排泄・食事等の介護、機能訓練、相談及び援助、健康状態の確認、送迎、その他ご利用時、必要と思われるサービスの提供をします。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①職員間の情報共有の徹底	(1) 職員間で意見を出し合い申し送りに漏れがないよう工夫する考えを身に付ける。 (2) わからないことや困ったことが相談できる職場内の環境作り。
	(報告) 職員間で申し送りの受け取り方に相違があり、度々業務に支障が出ています。意識の統一を図る必要性を感じています。
②介護技術の向上	(1) 利用者が心地よく支援が受けられるよう実践に結び付く施設内研修や勉強会に出席する。 (2) 意見がたくさん出るユニットミーティングの実施。
	(報告) リーダーがユニットリーダー研修を受講しました。今後、研修で学んだことを活かせるよう、他職員と支えていきたいと考えています。 毎月のユニットミーティングが実施できていないため、重要事項につきましては、別紙にて申し送りを伝達してきました。

◇ 行事

4 月		1 0 月	・ 食事作り
5 月		1 1 月	
6 月	・ 消防避難訓練（昼間想定）	1 2 月	・ クリスマス会
7 月	・ AED研修（職員）	1 月	・ お正月
8 月		2 月	・ 節分
9 月	・ 敬老祝賀会	3 月	・ 消防避難訓練（夜間想定）

（報告）

レクリエーションや行事にも考えていく必要性を感じています。

利用者の得意なことやお好きな作業等を聞き取り、ショートステイで過ごす時間を有意義に過ごせることを検討していきたいと考えています。

【令和 5 年度総括】

要介護 1 ～ 5 までの方が、日々入れ替わりご利用されるなか、男女合わせて要介護 3 の方のご利用が多く、介護の手間もそれなりにかかります。

お部屋で 1 人で過ごしたい方、何か家事をされたい方、他者とお話しをされたい方、落ち着いた方等、多岐に渡りご利用されています。

利用者にとって心地よい環境作りや家族が安心してショートステイへ送り出しができているかとサービスの質を考えさせられる令和 5 年度でした。

選ばれる施設を目指し、業務改善を検討していきたいと考えます。

令和5年度 社会福祉法人 恵康会
ショートステイひかりの丘 事業経過報告

1. 月別稼働率 (％)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
稼働率	74.52	80.32	70.32	79.03	84.19	81.61	74.52	75.48	73.87	86.13	62.26	78.39
目標数	75	75	75	75	75	75	80	80	80	80	80	80

2. 月別登録者推移表 (人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
男性	14	13	14	13	11	11	13	18	12	9	8	11
女性	32	30	25	27	27	30	24	28	28	27	21	21
合計	46	43	39	40	38	41	37	46	40	36	29	32

3. 月別請求件数／介護給付費請求金額 (件／円)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
請求件数	46	43	39	40	38	41	37	46	40	36	29	33
介護給付費請求金額	3,071,444	3,345,357	2,472,758	3,024,550	3,084,011	3,032,814	2,694,417	3,552,809	2,800,139	3,120,441	20,305,748	2,589,421

4. 月別要介護度別表 (人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
要介護1	7	6	6	8	9	6	7	3	2	3	2	5
要介護2	12	8	9	10	8	9	8	12	11	12	11	11
要介護3	16	18	15	15	13	18	15	17	18	12	5	6
要介護4	10	8	7	5	6	6	5	8	7	7	9	7
要介護5	1	3	2	2	2	2	2	4	2	2	2	3
合計	46	43	39	40	38	41	37	46	40	36	29	32

5. 月別居住区表 (人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
小倉北区	7	6	5	4	3	5	5	8	5	5	3	3
小倉南区	4	3	4	3	4	4	2	2	4	3	3	2
門司区	35	34	30	33	31	32	30	35	31	27	22	27
豊前市	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
合計	46	43	39	40	38	41	37	46	40	36	29	32

6. 月別平均年齢 (歳)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
男性	79.40	81.00	80.59	81.61	80.88	83.56	84.73	82.88	85.77	84.36	83.56	83.46
女性	88.71	89.75	89.41	88.44	89.43	88.32	89.18	89.09	88.52	88.26	89.89	88.99
男女平均	85.84	86.69	86.31	86.34	86.72	87.13	87.77	86.76	87.81	87.18	87.98	87.18

◇ 附属明細書

門司区： 367 件 小倉北区： 59 件 小倉南区： 38 件 豊前市： 3件

合計：467件

<新規ご依頼者依頼数>

4月：3件 5月：4 件 6月：4 件 7月：6 件 8月：5 件 9月：8 件
10月：6 件 11月：10 件 12月：6件 1月：3 件 2月：3 件 3月：2 件 合計：60件

<特養空床利用ショートステイ稼働率>

4月：36.13% (5床) 5月：36.77% (5床) 6月：12.90% (3床) 7月：25.81% (3床)
8月：24.19% (3床) 9月：26.13% (3床) 10月：21.61% (5床) 11月：46.77% (7床)
12月：26.77% (3床) 1月：23.87% (4床) 2月：9.68% (2床) 3月11.29% (3床)

令和5年度の目標平均稼働率77.5%に対し76.71%と未達でした。

要因としては、入院や体調不良、入所によるキャンセルです。

新規利用者60名のうち、特別養護老人ホームひかりの丘へ入所、5名。

定期利用、9名と定期利用に繋がらないことも目標未達の要因であると考えます。

緊急受入や介護者の入院等でロングショート希望の方、普段別のショートステイを利用されているが、一時的に利用ができなくなった方等の受け入れを行ってきました。今後の対策として、介護支援専門員との連携、職員の接遇マナーの徹底、環境整備、綺麗な職場環境作りに努めていきたいと思います。

令和 5 年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの丘 事業報告

(1) 事業所の種類

認知症対応型共同生活介護・予防認知症対応型共同生活介護

(2) 事業所の目的

要支援 2、要介護者にあつて認知症の状況にある者について共同生活住居において、家庭的な環境の下で入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針《個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。》

《近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。》

《口腔機能の維持、向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。》
を基に利用者の尊厳ある生活を支えています。

(4) 事業運営計画

- ・利用者の高齢化に伴い、一人一人の状態を把握し、職員間や主治医との連携を図り、異常の早期発見に努めます。
- ・オンラインの環境を活用し、リモート面会やLINEのやり取りの中で、家族の希望や要望などの意見をいただきやすい環境を目指します。
- ・利用者が笑顔で楽しく生活できる場になるように努めます。

(5) 利用定員

入居定員：2ユニット18名

かんもん 9名

かざし 9名

(6) サービスの内容

・利用者の生活

決められた日常の流れを作らず、自宅で生活しているような、自由でゆったりとした時間を過ごしていただきます。日々の生活の中で一人一人の役割づくりを目指し、その役割が自信となって自立に結び付くような生活を支援します。

・家族との交流

利用者の日々の生活の様子を手紙にてお知らせします。また、家族に参加をしていただく敬老会・クリスマス会等、交流の場を設けます。そして、家族との連絡は密に取り合い、利用者の状態やケアプランについての話し合いの場を作ります。

・食事

栄養士の献立のもと、厨房より運ばれた食事を配膳します。また、利用者と職員が一緒に昼食作りやおやつ作りを行います。

・レクリエーション

天気や利用者の希望にあわせて、レクリエーションを行います。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①利用者の高齢化、重度化に伴い、状態に合わせた介護技術、知識を身につける。	(1) 日々の変化に気付く細やかな観察力を身につける。 (2) 異常の早期発見に努め、医療をはじめとする多職種との連携を図る。
	(報告) 今年度は看取り介護を3件させていただきました。看取り介護に至るまでの日々の状態変化を細かく観察し、主治医や看護師と連携を図り、看取り介護を行う上で、利用者にあまり負担なく、日々のケアが行えたかと思います。ユニット間で情報を共有することで、新たな気づきもあり、日々のケアに活かすことが出来ていると思います。
②感染症対策に努め、安全で安心した生活が送れるように努める。	(1) 日々の感染対策を徹底する。 (2) 感染対策の勉強会を定期的に行う。 (3) 利用者、職員とも日々の状態変化を把握し、異常の早期発見に努める。
	(報告) 職員は出勤時に検温を行い、体調不良の場合は、事前に報告して、指示を仰ぐようになっていきます。定期的に専門職種（看護師）主催の感染症対策の勉強会が開催され、参加しています。ユニット内では職員は勿論、利用者の手洗いや、室内の換気にも気を配り、感染症対策に努めています。
③ユニット間で情報共有を行い、急な職員不足に対応できるようにする。	(1) 各ユニットの業務マニュアルを用意する。 (2) ミーティングに参加したり、状態変化時の情報をお互いのユニットで共有する。
	(報告) 各ユニットと勤務毎にマニュアルを作成し、ユニット間で共有しています。マニュアルの内容をしっかりと把握することで、他ユニットの利用者の対応もスムーズに出来るようになったと思います。また、マニュアル作成時は、職員の意見を取り入れ、業務が円滑に進むように努めています。

◇ 行事

4月	お誕生日会 食事作り 運営推進会議	10月	お誕生日会 食事作り 運営推進会議
5月	お誕生日会 食事作り	11月	食事作り
6月	お誕生日会 食事作り 避難訓練・運営推進会議	12月	食事作り クリスマス会 運営推進会議
7月	お誕生日会 食事作り たなばた	1月	お誕生日会 食事作り
8月	お誕生日会 食事作り 運営指導・運営推進会議	2月	お誕生日会 食事作り 運営推進会議
9月	食事作り 敬老会 外部評価	3月	お誕生日会 食事作り 避難訓練

(報告)

昨年度も外出は出来ない状況が続いていましたので、利用者にリクエストを伺い、食事作りに取り組みました。誕生日会では背景を工夫するなど、ユニット内で楽しんでいただけるように職員も知恵を絞っています。今年度はドライブなど、あまり人と接する事がないような場面から外出ができればと思っています。

【令和5年度総括】

看取り介護を3件させていただきました。看取り介護に入り、利用者の状態にあったケアをさせていただこうと、両ユニットのスタッフが、様々な意見を出し合ったり、利用者の様子を見に来て、声を掛けるなどの場面が多く見られました。自分の配属されているユニットだけにとどまらず、利用者の事を気にかけて、気遣う事が出来るようになった事はとても良かったと思います。今後も利用者一人一人に合った介護方法を、その都度見直し、スタッフ間で情報を共有し、主治医や看護師などの専門職との協力体制を整える事が大切であると感じました。介護方法が変わっても、誰もがスムーズに対応できるよう、解りやすいマニュアル作りや、スタッフ同士で連携が取れるような体制作りを行い、勉強会や研修を重ね、より良いケアが出来るよう努めたいと思います。また、面会が制限付きではありますが、緩やかになりユニットで家族と過ごす時間が取れるようになりました。利用者の表情の良さは一目瞭然です。家族からも「実際に会う事が出来るのは嬉しいです」との言葉をいただいています。これからも引き続き感染症対策に取り組みながら、外出レクリエーションを取り入れ、ここでの生活がより充実したものになるように努めたいと思います。

令和５年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの丘 事業経過報告

１．月別入居者推移表 (人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
女性	17	16	15	14	14	14	15	17	16	16	17	17
合計	18	17	16	15	15	15	16	18	17	17	18	18
目標数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

３．月別請求件数／介護給付費請求金額 (件／円)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
請求件数	18	17	15	15	15	16	18	18	17	18	18	18
介護給付費 請求金額	5, 046, 267	4, 642, 819	4, 183, 845	4, 328, 046	4, 323, 272	4, 364, 839	4, 721, 574	4, 995, 043	4, 873, 185	4, 886, 004	4, 767, 263	4, 904, 052

３．月別要介護度別表 (人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3
要介護 2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
要介護 3	6	6	6	5	5	5	5	6	5	4	4	4
要介護 4	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8
要介護 5	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	18	17	16	15	15	15	16	18	17	17	18	18

４．月別居住区表 (人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
小倉北区	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
小倉南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
門司区	16	15	13	14	13	13	13	14	14	14	14	14
戸畑区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若松区	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
八幡東区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
八幡西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	17	15	16	15	15	16	18	18	18	18	18

５．月別平均年齢 (歳)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
男性	95. 0	95. 0	95. 0	95. 0	95. 0	95. 0	95. 0	95. 0	95. 0	95. 0	96. 0	96. 0
女性	90. 9	91. 4	91. 6	91. 5	91. 5	91. 7	92. 0	90. 3	90. 5	90. 5	90. 7	90. 7
男女平均	91. 1	91. 6	91. 8	91. 7	91. 8	91. 9	92. 1	90. 6	90. 7	90. 7	91. 0	91. 0

◇ 附属明細書

○令和5年度入退居状況

■退居

- ・ R5. 04. 29 女性 要介護3 看取り
- ・ R5. 05. 31 女性 要介護5 医療ニーズ
- ・ R5. 06. 21 女性 要介護4 医療ニーズ
- ・ R5. 11. 24 女性 要介護3 看取り
- ・ R6. 03. 17 女性 要介護4 看取り
- ・ R6. 03. 18 女性 要介護4 医療ニーズ

□入居

- ・ R5. 09. 11 女性 要介護1 他GHより
- ・ R5. 10. 23 女性 要介護3 自宅より
- ・ R5. 10. 28 女性 要介護2 自宅より
- ・ R6. 01. 31 女性 要介護1 自宅より

本年度は3件の看取り介護を行いました。3件とも、急激な様態の変化により看取りとなった方々でした。そのため、今までの看取りより、職員の精神的不安も大きかったのではないかと思います。家族には「ここで最後まで過ごせて良かったです」とおっしゃっていただくことができたので、職員の気持ちも少し楽になったのではないかと思います。また、病状の悪化や経口摂取が難しくなり、医療ニーズが高まったため、療養型へ転院となられる方もおられました。空床になると、施設紹介サービスや居宅介護支援事業所からお問い合わせをいただくのですが、認知症の診断が無い方や今すぐには入居を考えていない方もおられ、なかなか入居には至らず、長期間、空床が続くこともありました。今後はショートステイや、地域包括支援センター等とも連携を図り、空床の期間が短くなるように努めてまいりたいと思います。

令和5年度 社会福祉法人 恵康会 グループホームひかりの道 事業報告

(1) 事業所の種類

認知症対応型共同生活介護・予防認知症対応型共同生活介護

(2) 事業所の目的

要支援2、要介護者にあつて認知症の状況にある者について共同生活住居において、家庭的な環境の下で入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。」

「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」

「口腔機能の維持、向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。」
を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・毎日安心して生活が送れるように、利用者に合ったケアを行います。
- ・重度化に伴う体調管理を行います。

(5) 利用定員

入居定員：2ユニット18名

ひまわり 9名

あやめ 9名

(6) サービスの内容

・利用者の生活

自宅で生活しているような、自由でゆったりとした時間を楽しんでいただきます。一人一人の役割を担って頂き、その役割が自信となって自立に結び付くような生活になるよう支援していきます。

・家族との交流

毎月、利用者の様子を手紙にてお知らせいたします。また、行事にも参加していただき、ふれあいの場を設けていきます。家族との連絡は密に取り合い、利用者の状態やケアプランについての話し合いの場を設けます。

・レクリエーション

散歩、カラオケ、小物作り、園芸など、利用者の趣味や希望に沿ったレクリエーションを行います。ドライブや外食、お買物などの外出レクリエーションも定期的に行っていきます。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①食事を楽しんでいた く。	(1) 「美味しい」と思えるような食事の工夫を行う。 (2) 歯科による口腔ケアの指導を把握し、スキルアップを図る。 (3) 楽しんで無理なく食事出来る環境作りを行う。
	(報告) 月に数回、手作りのお食事を提供することが出来ました。定期的に食形態の見直しを行い、見た目や温度に気をつけて食事の提供が出来ました。 入職時に口腔ケア研修を実施することで、職員が口腔ケアに興味を持ち、口腔ケアの内容を把握し専門職へ質問することによって、より理解を深めることが出来るようになったと感じています。 天気の良い日はベランダでおやつを召し上がっていただきました。食事摂取量の少ない方には栄養補助食品などを用いて無理なく栄養を摂取していただく工夫を行いました。また、落ち着ける音楽などを流すなどをして、食事時の雰囲気を大切にしました。
②体調管理を行う。	(1) 利用者の異変に気が付けるように観察する。 (2) 職員同士が情報を共有し体調を把握する。 (3) 家族、主治医、専門職との連携を図る。
	(報告) 利用者の『いつもと違う』に気づき早期の対応が出来ました。その結果、医療機関の受診へと迅速に繋ぐことが出来るようになったと思います。 利用者の情報を職員へ口頭で説明するだけでなく、紙面で情報をいつでも見れるように連絡ノートに貼っておくなど、申し送りを口頭だけで行わないようにしたことで、さらに細やかな共有が出来たと思います。 基本の電話や直接の説明だけでなくLINEやメールも活用し、情報を動画で共有し連携を図ることが出来ました。

◇ 行事

4 月	手作り昼食レク シャボン玉レク お誕生日会	10 月	ユニット運動会 お誕生日会 手作り昼食レク
5 月	手作り昼食レク 第1回運営推進会議（書面） ベランダおやつ お誕生日会	11 月	習字レク 第4回運営推進会議 お誕生日会
6 月	手作り昼食レク お誕生日会 習字レク	12 月	手作り昼食レク、餅つき大会 ユニット内クリスマス会 消防避難訓練（災害）
7 月	手作り昼食レク お誕生日会 七夕飾り 第2回運営推進会議（書面） 消防避難訓練（昼想定）	1 月	手作り昼食レク お誕生日会 書初め 第5回運営推進会議 消防避難訓練（夜間を想定）
8 月	かき氷作り 手作り昼食レク じゃんけん大会	2 月	手作り昼食レク ユニット内節分豆まき お誕生日会
9 月	敬老会 第3回運営推進会議（書面） お誕生日会	3 月	手作り昼食レク お誕生日会 第6回運営推進会議

（報告）

前年度はひかりの丘との合同レクリエーションの餅つきに参加することが出来ました。今年度は人混みを避けつつもドライブ等徐々に外出の機会を持ちたいと考えています。また、運営推進会議は書面ではなく以前同様に開催することが出来ました。

【令和5年度総括】

食事環境を工夫することにより、食事量の大幅な減少もなく、体重維持が来ています。食事
中の会話や笑顔が増え、楽しんで食事をしていただけたと思います。今後も体調や日常の変化を
よく観察し、利用者の生活を支援していきたいと思います。

令和５年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの道 事業経過報告

１．月別入居者推移表 (人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
女性	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16
合計	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17
目標数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

３．月別請求件数／介護給付費請求金額 (件／円)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
請求件数	18	18	18	18	16	16	17	17	17	17	17	17
介護給付費 請求金額	4,631,315	5,103,266	4,681,999	4,823,552	4,387,956	4,380,574	4,764,448	4,389,846	4,676,866	4,784,781	4,473,381	4,780,985

３．月別要介護度別表 (人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
要介護 2	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
要介護 3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3
要介護 4	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5
要介護 5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17

４．月別居住区表 (人)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
小倉北区	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
小倉南区	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
門司区	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15
戸畑区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若松区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡東区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17

５．月別平均年齢 (歳)

	R5. 4月	R5. 5月	R5. 6月	R5. 7月	R5. 8月	R5. 9月	R5. 10月	R5. 11月	R5. 12月	R6. 1月	R6. 2月	R6. 3月
男性	78.4	78.5	78.6	78.7	78.8	78.8	78.9	79.0	79.1	79.2	79.3	79.3
女性	88.8	88.9	88.9	89.1	89.8	89.9	90.0	90.1	89.6	89.7	89.8	89.9
男女平均	88.2	88.3	88.4	88.4	89.2	89.2	89.3	89.4	89.0	89.1	89.2	89.3

◇ 附属明細書

入居状況について今年度は昨年度に比べ退居数は少なかったです。

急変での搬送後、療養型病院への入院による退居が1名

特養への入所の為退居が1名でした。

空室については入居日も決定した状況での急変等によりキャンセルが続き

現在、空室が一床あります。

退所

入所

R5. 7. 29 要介護3（特養入所の為退居）→ R5. 12. 14 要介護1

R5. 11. 30 要介護3（体調悪化により入院し療養型病床へ入所）→ 現在入所調整中